

明治安田生命 震災に関するアンケート調査を実施！

～「防災の日」 震災対策を改めて見直す～

震災時に約8割が「家族」を頼りに 「家族の安全を確認」を何より優先
一方、家族との「連絡手段・落ち合う場所」を約8割が未決。意識と対策に大きなギャップ！
突然の震災 持って逃げたいものは、「現金」「携帯電話」

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 松尾 憲治）は、防災の日を前に、災害に関するアンケート調査を実施しましたので、ご報告します。

○災害に対する意識（詳細は4～9ページ参照）

■地震や台風など自然災害を不安に感じている人は67.1%！

将来、大地震が発生すると考えている人は91.8%

- ・67.1%の人が自然災害に対して不安。最近の中越沖地震や今後想定されている東海・東南海・南海地震などが影響！？
- ・将来大地震が発生すると考えている人は91.8%。そのうち4人に1人が「5年以内」と回答！
- ・特に「東海」は「5年以内に大地震が発生する」と考えている人が44.4%も！
- ・大地震発生！一番心配なことの第1位は「家族の安否」。家族思いの姿が明らかに。

○震災時の大切にしたい「絆」（詳細は10～13ページ参照）

■震災時に約8割が「家族」を頼りに 震災時の行動は「家族の安全を確認」を何より優先
一方、家族との「連絡手段」「落ち合う場所」を約8割の人が決めていない！

- ・いざという時は、やっぱり「家族」。多くの人が震災時の家族との「絆」を意識。
- ・一方、家族との「絆」を意識しつつも、家族との「連絡手段」等を約8割の人が決めていない！
- ・個人でできる救援活動は「義援金の送付」。一方、「特に何もしない」が30.2%と、残念な結果。

○震災時の「備え」（詳細は14～19ページ参照）

■震災を不安と思いつつも、対策を「特に何もしていない」人が48.5%。意外と無防備？
突然の震災！持って逃げたいものは、「現金」「携帯電話」

- ・震災対策の第1位は「防災グッズの準備」。
- ・震災対策の準備状況が一番高い地域は「東海」。
- ・防災グッズで準備しているものの第1位は「懐中電灯」、続いて「水」「食料」「ラジオ」。
- ・防災グッズにかかる費用は平均9,963円。

○自然災害以外に何が不安？（詳細は21ページ参照）

■自然災害以外で最も不安に感じることは「老後の生活」、続いて「自分・家族の健康」
時代背景を映す！？若年層でも「老後の生活」を不安に
女性では「食品の安全性」「親の世話・面倒」「環境問題」、男性では「仕事・リストラ」

対象者の属性

1. 調査対象
20～59歳の男性・女性
2. 調査地域
全国
3. 調査期間
2007年8月17日（金）～8月20日（月）
4. 調査方法
インターネット調査
5. 有効回答者数
1,211人
6. 回答者の内訳

（単位：人）

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	計
男性	146	155	150	148	599
女性	151	151	153	157	612
計	297	306	303	305	1,211

【もくじ】

1. 災害に対する意識

(1)自然災害に対する不安は？ (4ページ)

地震や台風など自然災害を不安に感じている人は67.1%!
男性に比べ女性の方が災害を不安視

(2)不安に感じる災害は？ (5ページ)

不安に感じる災害の第1位は「地震」！ 続いて「台風」「落雷」
「地震をとて不安に感じる」地域は「東海」
「中国」「四国」「九州・沖縄」は、「台風」も不安に

(3)近い将来の大地震発生の可能性は？ (7ページ)

「将来、大地震が発生する」と考えている人は、なんと91.8%!
そのうち4人に1人が「5年以内」と回答
特に、「東海」では「5年以内に大地震が発生する」と考えている人が44.4%!

(4)大地震発生！一番心配なことは？ (8ページ)

家族思いの姿が明らかに！ 一番心配なことの第1位は「家族の安否」
続いて、生活に欠かせない「水道や電気などのライフラインの確保」「食料品の確保」

(5)あなたの住まいは大丈夫？ (9ページ)

64.6%の人が自分の居住する家屋の倒壊に不安
築5年以内の新しい物件、マンションに居住している人も半数以上が不安に！

2. 震災時の大切にしたい「絆」

(1)震災が起きたときに誰を頼りにする？ (10ページ)

いざというときは、やっぱり「家族」！ 約8割の人が「家族」を頼りに
専業主婦、子どものいる家庭は、「隣近所」を頼りにする傾向も

(2)自宅で大震災！震災時の行動は？ (11ページ)

大地震発生時の優先する行動 「家族の安全を確認」を何より優先
続いて、「身の回りの貴重品を集める」「食料と水を確保する」

(3)家族との連絡手段・落ち合う場所 (12ページ)

家族の「絆」を強く意識しながらも、家族との連絡手段等を約8割の人が決めていない！

(4)個人でできる救助活動は？ (13ページ)

個人レベルでできる救助活動は「義援金の送付」
残念な結果！「特に何もしない」が30.2%も！

3. 震災時の「備え」

(1)震災対策として何をしていますか？ (14ページ)

震災対策の第1位は、「防災グッズの準備」
一方で、震災を不安と思いつつ、「特に何もしていない」が48.5%も。意外と無防備？
震災対策の準備状況が一番高い地域は「東海」

(2)いざというときの備え「防災グッズ」は何を準備？ (15ページ)

防災グッズで準備している第1位は「懐中電灯」
防災グッズにかかる費用は高い？安い？ 平均で9,963円
防災グッズを準備しない理由「準備をつい忘れてしまう」「何を準備していいかわからない」

(3)震災発生時に持って逃げたいものは？ (18ページ)

突然の震災！持って逃げたいものは「現金」「携帯電話」！

(4)震災時の情報源は？ (19ページ)

震災時には正しい情報が不可欠！情報源は「ラジオ」「携帯電話」から

4. 「防災の日」を知っている？

9月1日「防災の日」の由来 知っている人は全体で47.0%
20歳代の方は、3人に1人が「全く知らない」！

5. 自然災害以外に何が不安？

自然災害以外で最も不安に感じることは「老後の生活」「自分・家族の健康」
時代背景を映す！？若年層でも「老後の生活」を不安に！
女性は「食品の安全性」「親の世話・面倒」「環境問題」、男性は「仕事・リストラ」も不安に！

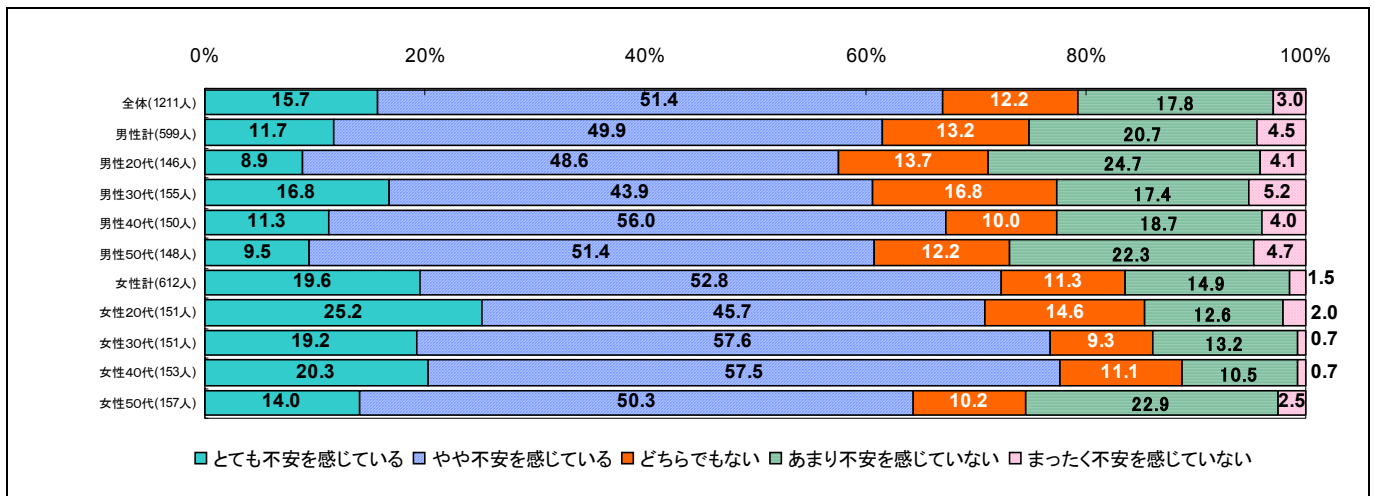
1. 災害に対する意識

(1) 自然災害に対する不安は？

地震や台風など自然災害を不安に感じている人は67.1%！
男性に比べ女性の方が災害を不安視

- ・防災の日を前に、自然災害に対する意識を聞いてみました。
- ・地震や台風などの自然災害に対して、67.1%の人が不安（「とても不安」＋「やや不安」）を感じています。
- ・自然災害への不安を男女別で見ると、女性では72.4%と男性の61.6%よりも10ポイント以上高くなっています。男性より女性の方が自然災害に対して不安を感じる人が多いようです。
- ・居住地域別で見ると、「四国」（76.7%）、「甲信越・北陸」（71.2%）、「東海」（70.4%）、「近畿」（70.0%）、「九州・沖縄」（67.6%）では、自然災害に対する不安を感じている人が平均より高くなっています。最近の中越沖地震や今後想定されている東海・東南海・南海地震などが影響しているのかもしれませんが。
- ・また、「とても不安」との回答で見ると、「東海」が28.1%と高くなっています。

Q. 地震や台風などの自然災害に対して、不安を感じていますか（単一回答）



【地域別】	回答者数	不安を感じている 計			どちらでもない	不安を感じていない 計	
		とても不安を感じている (%)	やや不安を感じている (%)	どちらでもない (%)		あまり不安を感じていない (%)	まったく不安を感じていない (%)
全体	1211人	67.1	15.7	51.4	12.2	17.8	3.0
北海道	77人	64.9	13.0	51.9	20.8	14.3	0.0
東北	52人	59.6	15.4	44.2	28.8	9.6	1.9
関東	477人	65.4	13.6	51.8	12.4	18.4	3.8
甲信越・北陸	52人	71.2	3.8	67.3	7.7	15.4	5.8
東海	135人	70.4	28.1	42.2	5.2	20.7	3.7
近畿	223人	70.0	17.5	52.5	11.2	17.0	1.8
中国	63人	61.9	7.9	54.0	12.7	25.4	0.0
四国	30人	76.7	16.7	60.0	3.3	20.0	0.0
九州・沖縄	102人	67.6	17.6	50.0	12.7	14.7	4.9

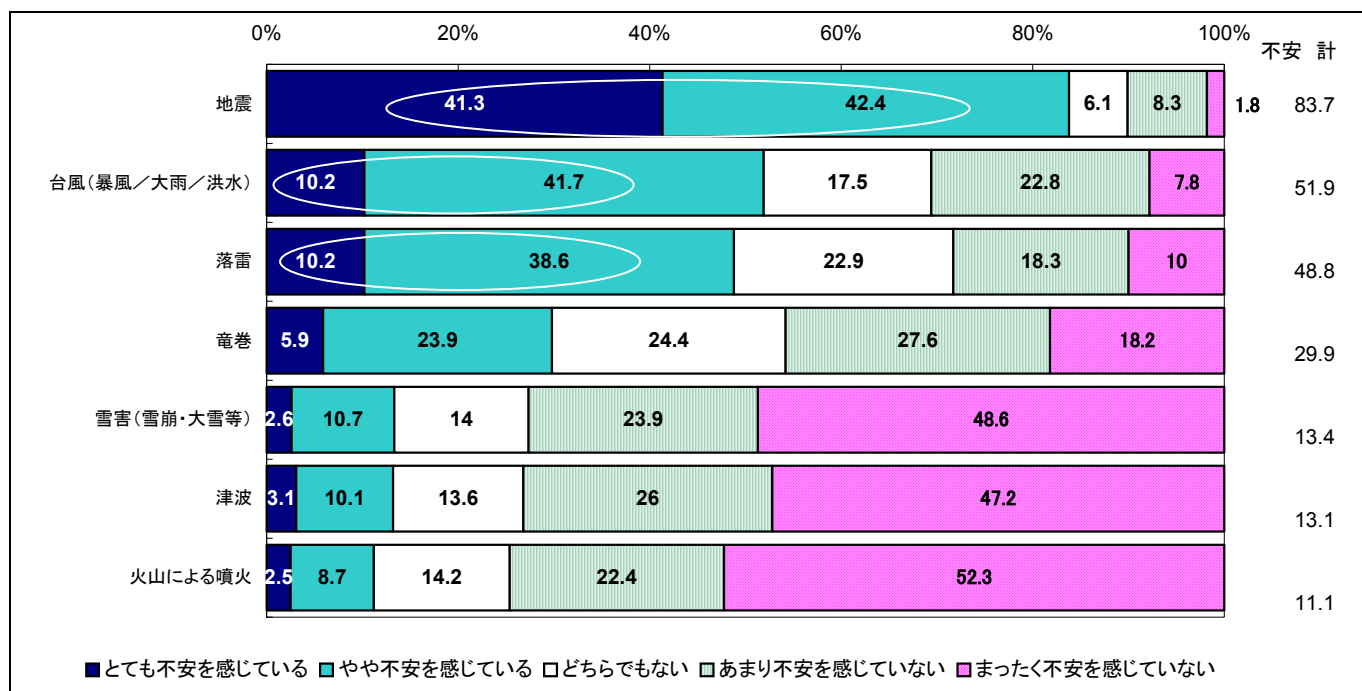
1. 災害に対する意識

(2) 不安を感じる災害は？

不安を感じる災害の第1位は「地震」！ 続いて「台風」「落雷」
 「地震をととても不安を感じる」地域は「東海」
 「中国」「四国」「九州・沖縄」は、「台風」も不安に

- ・不安を感じる自然災害について具体的に聞いてみました。
- ・第1位は「地震」。「とても不安」と「やや不安」を合わせて83.7%の人が不安を感じています。
- ・続いて「台風」（「とても不安」＋「やや不安」51.9%）、「落雷」（同48.8%）となっています。過去の震災や最近の中越沖地震発生が影響しているのかもしれませんが。
- ・居住地域別では、「地震をととても不安を感じる」と回答した人は「東海」（52.6%）が最も高く、続いて「近畿」（45.3%）となっています。
- ・また、「中国」「四国」「九州・沖縄」では、地震が第1位であるものの、直撃する頻度の高い「台風」を不安（「とても不安」＋「やや不安」）とする傾向が強くなっており、地域性が表れています。

Q. 不安を感じている自然災害は（複数回答）



Q. 自然災害の不安について：地域別

不安を感じる（「とても不安を感じている」「やや不安を感じている」）自然災害について、地域別にまとめてみました。

※下表の「不安計」は、「とても不安を感じている」と「やや不安を感じている」の合計です。

地震				
順位	不安計	%	とても不安	%
1	四国	93.3	東海	52.6
2	東北	86.5	近畿	45.3
3	近畿	86.1	関東	42.6
4	関東	83.9	東北	38.5
5	東海	83.7	四国	36.7
6	北海道	81.8	九州・沖縄	34.3
7	甲信越・北陸	80.8	北海道	33.8
8	九州・沖縄	79.4	甲信越・北陸	30.8
9	中国	79.4	中国	27.0

台風(暴風/大雨/洪水)				
順位	不安計	%	とても不安	%
1	四国	70.0	九州・沖縄	28.4
2	九州・沖縄	69.6	東海	14.8
3	中国	68.3	四国	13.3
4	北海道	59.7	東北	11.5
5	東北	57.7	北海道	10.4
6	甲信越・北陸	51.9	中国	7.9
6	東海	51.9	近畿	7.6
8	近畿	50.2	関東	6.7
9	関東	43.6	甲信越・北陸	3.8

落雷				
順位	不安計	%	とても不安	%
1	九州・沖縄	63.7	東北	13.5
2	甲信越・北陸	59.6	中国	12.7
3	四国	56.7	九州・沖縄	11.8
4	北海道	55.8	北海道	11.7
5	関東	49.7	関東	10.9
6	東北	46.2	東海	10.4
7	中国	44.4	甲信越・北陸	9.6
8	近畿	41.3	近畿	7.2
9	東海	40.0	四国	0.0

竜巻				
順位	不安計	%	とても不安	%
1	九州・沖縄	40.2	東北	15.4
2	東北	38.5	北海道	9.1
3	北海道	37.7	東海	8.9
4	東海	31.9	九州・沖縄	8.8
5	四国	30.0	甲信越・北陸	7.7
6	関東	27.5	近畿	4.9
7	近畿	27.4	中国	4.8
8	中国	25.4	関東	3.8
9	甲信越・北陸	23.1	四国	0.0

雪害(雪崩・大雪等)				
順位	不安計	%	とても不安	%
1	北海道	57.1	北海道	16.9
2	東北	38.5	甲信越・北陸	7.7
3	甲信越・北陸	36.5	東北	5.8
4	四国	13.3	東海	1.5
5	中国	9.5	関東	1.3
6	近畿	9.0	近畿	1.3
7	東海	8.9	九州・沖縄	1.0
8	関東	7.1	中国	0.0
9	九州・沖縄	2.9	四国	0.0

津波				
順位	不安計	%	とても不安	%
1	北海道	28.6	四国	6.7
2	四国	26.7	東北	5.8
3	東海	15.6	北海道	5.2
4	九州・沖縄	14.7	九州・沖縄	3.9
5	近畿	14.3	近畿	3.6
6	東北	13.5	東海	3.0
7	甲信越・北陸	11.5	関東	2.3
8	関東	9.0	甲信越・北陸	1.9
9	中国	7.9	中国	0.0

火山による噴火				
順位	不安計	%	とても不安	%
1	北海道	18.2	東北	5.8
2	甲信越・北陸	17.3	北海道	5.2
3	九州・沖縄	14.7	東海	3.7
4	関東	13.4	関東	2.3
5	東北	11.5	近畿	2.2
6	東海	10.4	甲信越・北陸	1.9
7	近畿	4.9	九州・沖縄	1.0
8	四国	3.3	中国	0.0
9	中国	1.6	四国	0.0

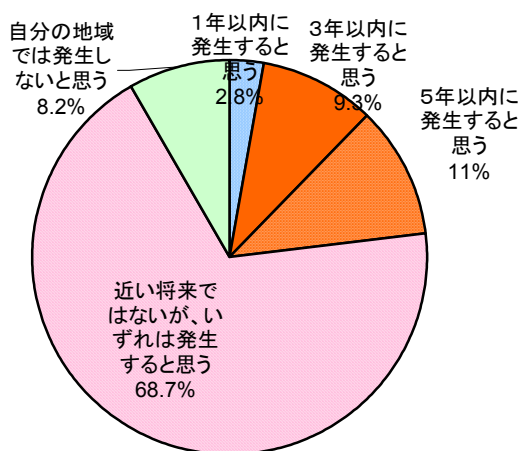
1. 災害に対する意識

(3) 近い将来の大地震発生の可能性は？

「将来、大地震が発生する」と考えている人は、なんと91.8%！
 そのうち4人に1人が「5年以内」と回答
 特に、「東海」では「5年以内に大地震が発生する」と考えている人が44.4%！

- ・一番不安な自然災害は「地震」とのこと。そこで近い将来の大地震の発生の可能性について、どのように考えているか聞いてみました。
- ・大地震は発生しないと考えている人は、わずか8.2%で、91.8%の人が「将来、大地震が発生する」と考えています。ここ数年、大規模な地震が続いていることから、地震の発生を危惧しているのでしょうか？
- ・また、4人に1人（23.1%）が「5年以内に大地震が発生する」と考えており、喫緊の不安として感じているようです。
- ・居住地域別でみると、「5年以内に大地震が発生する」と考えている人は、「東海」で44.4%と最も多く、次いで「東北」の36.5%となっています。
- ・「北海道」（19.5%）、「九州・沖縄」（18.6%）、「中国」（17.5%）では、「自分の地域では大地震は発生しない」と考えている人が他の地域と比べ多くなっています。

Q. 近い将来、自分の居住している地域に大地震が発生すると思いますか（単一回答）



【地域別】	回答者数	発生すると思う計					近い将来ではないが、いずれは発生すると思う (%)	自分の地域では発生しないと思う (%)
		発生すると思う計 (%)	5年以内に発生すると思う計 (%)	1年以内に発生すると思う (%)	3年以内に発生すると思う (%)	5年以内に発生すると思う (%)		
全体	1211人	91.8	23.1	2.8	9.3	11.0	68.7	8.2
北海道	77人	80.5	16.9	3.9	6.5	6.5	63.6	19.5
東北	52人	92.3	36.5	3.8	17.3	15.4	55.8	7.7
関東	477人	95.0	21.6	2.7	8.0	10.9	73.4	5.0
甲信越・北陸	52人	90.4	25.0	5.8	15.4	3.8	65.4	9.6
東海	135人	96.3	44.4	3.7	18.5	22.2	51.9	3.7
近畿	223人	93.3	19.3	2.2	7.2	9.9	74.0	6.7
中国	63人	82.5	12.7	1.6	4.8	6.3	69.8	17.5
四国	30人	96.7	20.0	3.3	0.0	16.7	76.7	3.3
九州・沖縄	102人	81.4	14.7	1.0	8.8	4.9	66.7	18.6

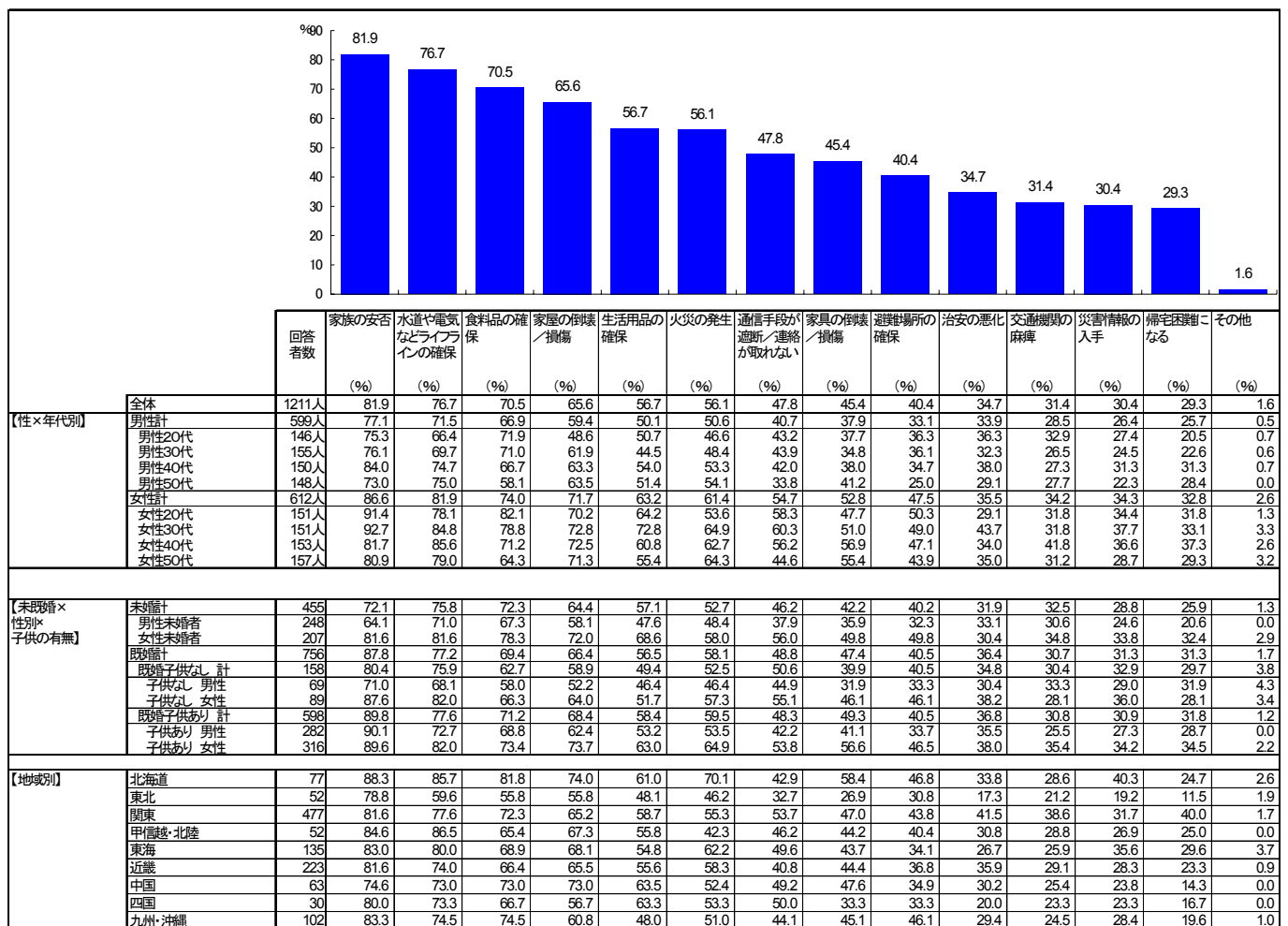
1. 災害に対する意識

(4) 大地震発生！一番心配なことは？

家族思いの姿が明らかに！ 一番心配なことの第1位は「家族の安否」
続いて、生活に欠かせない「水道や電気などのライフラインの確保」「食料品の確保」

- ・地震の恐ろしさは、予知することができず突然襲ってくることです。大地震が発生した場合、みなさんは一番何を心配しますか？
- ・結果は、第1位が「家族の安否」（81.9%）となり、何よりも家族を心配する、家族思いの姿が明らかになりました。
- ・続いて、生活に欠かせない「水道や電気などのライフラインの確保」（76.7%）、「食料品の確保」（70.5%）となっています。
- ・居住地域別でみると、「北海道」では「食料品の確保」「火災の発生」「家具の倒壊/損傷」が平均より10ポイント以上高くなっています。また、「関東」では、「帰宅困難になる」が同じく10ポイント以上高い結果となっており、「帰宅難民」となることを心配しているようです。

Q. 震災時に心配なことは何ですか（複数回答）



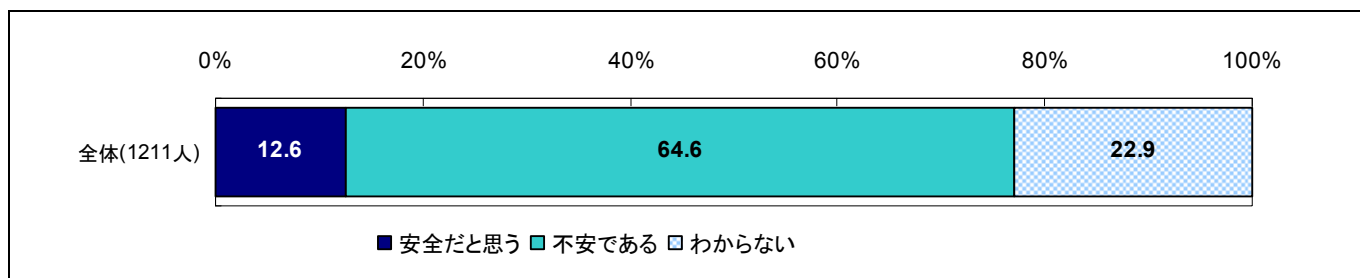
1. 災害に対する意識

(5) あなたの住まいは大丈夫？

**64.6%の人が自分の居住する家屋の倒壊に不安
築5年以内の新しい物件、マンションに居住している人も半数以上が不安に！**

- ・過去の震災から、身の安全や震災後の生活を考えた場合、家屋の安全性はとても気になるところです。大地震発生時の家屋の倒壊に対する不安を聞いてみました。
- ・**64.6%の人が自分の居住する家屋の倒壊を不安と回答しています。**
- ・居住物件別でみると、「一戸建（木造）」や「アパート」に居住している人が家屋の倒壊に対して不安を強く感じているようです。築年数別では、「**築年数25年超の物件**」で不安が高くなっています。
- ・また、「**築5年以内**」の新しい物件や「**マンション**」に居住している人も、**50%以上**が自分の住まいに不安を感じているようです。昨今の耐震問題の影響もあるかもしれません。

Q. 自分の住まいは大地震のとき、安全だと思いますか（単一回答）



		回答者数	安全だと思う(%)	不安である(%)	わからない(%)
	全体	1211人	12.6	64.6	22.9
【居住物件】	マンション(鉄筋)	345人	15.1	56.8	28.1
	アパート(木造)	74人	2.7	81.1	16.2
	アパート(鉄筋)	131人	6.9	76.3	16.8
	一戸建(木造)	556人	10.3	68.3	21.4
	一戸建(鉄筋)	105人	30.5	43.8	25.7
【築年数】	0～5年	218人	24.3	50.9	24.8
	6～15年	431人	12.5	63.3	24.1
	16～25年	318人	9.1	67.0	23.9
	26～50年	230人	6.5	75.2	18.3
	51年以上	14人	7.1	85.7	7.1

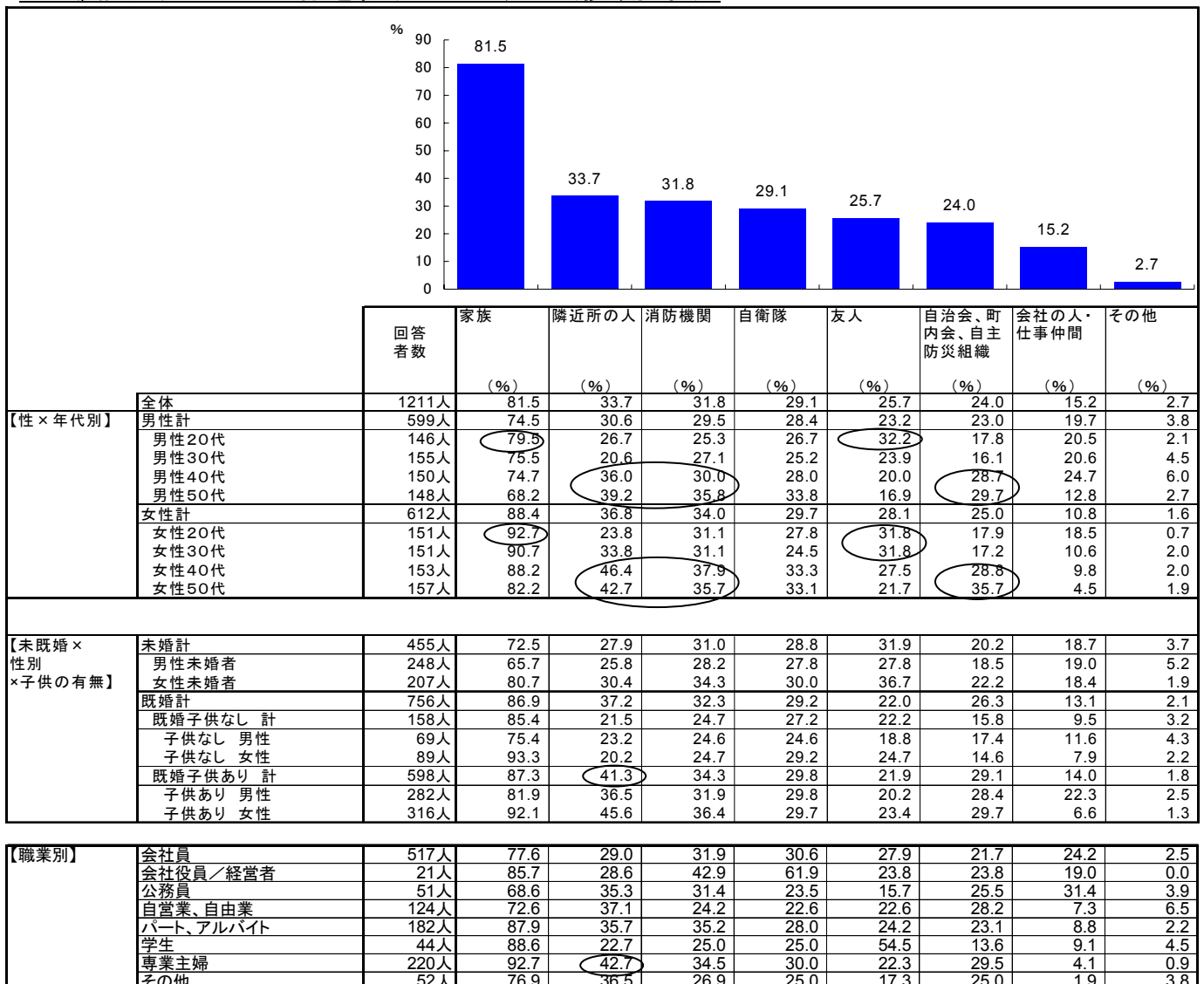
2. 震災時の大切にしたい「絆」

(1) 震災が起きたときに誰を頼りにする？

いざというときは、やっぱり「家族」！ 約8割の人が「家族」を頼りに
専業主婦、子どものいる家庭は、「隣近所」を頼りにする傾向も

- ・大地震が発生した場合、みなさんは誰を頼りにしますか？
- ・誰を頼りにするかは「家族」が最も高く81.5%、次いで「隣近所の人」が33.7%、続いて「消防機関」が31.8%。やはり、いざというときに頼りにするのは「家族」ですね。
- ・年齢別でみると、男女とも若年層ほど「家族」「友人」を頼りにする傾向がある一方、年齢が高くなるにつれて「消防機関」「隣近所の人」「自治会・町内会・自主防災組織」などを頼りにするようです。
- ・家族構成でみると、「隣近所の人」を頼りにする傾向が、「専業主婦」（42.7%）、「子どものいる家庭」（41.3%）で強くなっています。日頃の奥さん同士、子ども同士の付き合いからご近所との連携が密になっているのでしょうか？

Q. 震災が起きたとき誰を頼りにしますか（複数回答）



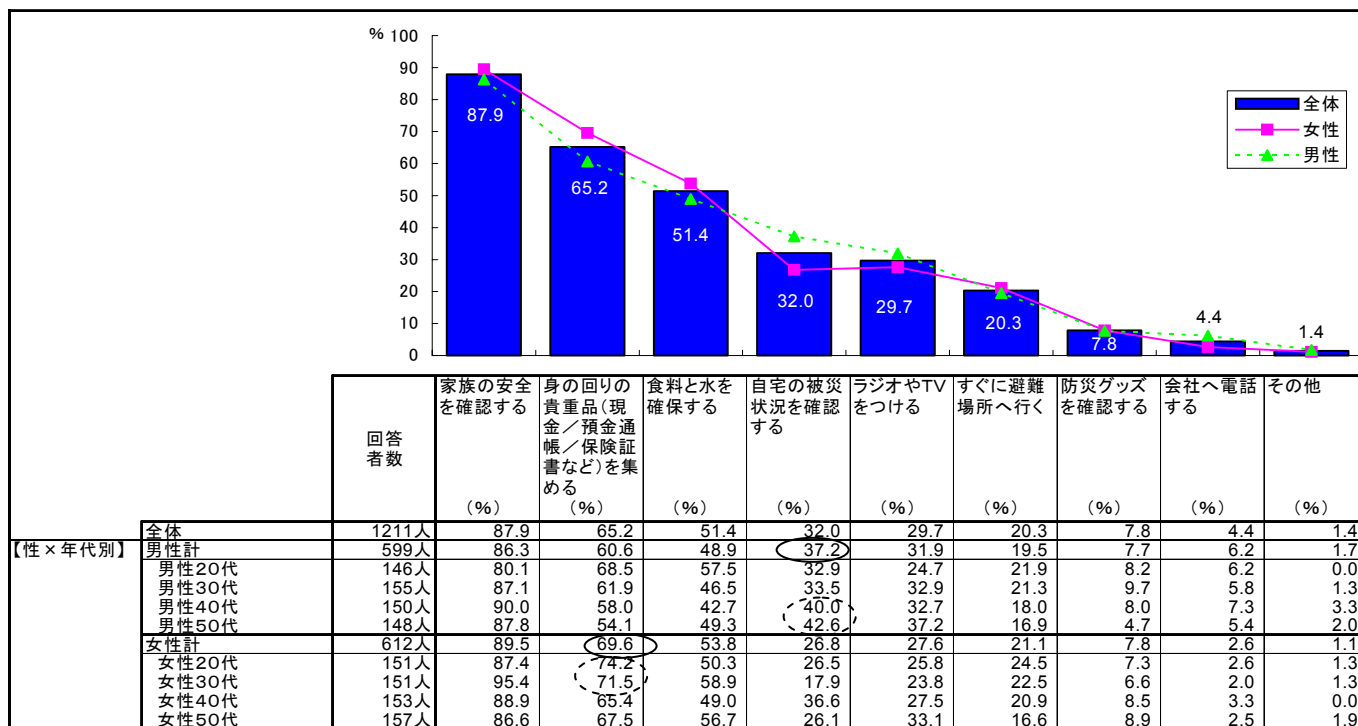
2. 震災時の大切にしたい「絆」

(2) 自宅で大地震！震災時の行動は？

大地震発生時の優先する行動 「家族の安全を確認」を何より優先
続いて、「身の回りの貴重品を集める」「食料と水を確保する」

- ・突然の大地震！冷静な行動が不可欠です。そこで、大地震発生時に第一に優先する行動を聞いてみました。
- ・第1位が「家族の安全を確認する」（87.9%）となり、ここでも「家族思い」の姿が明らかになりました。続いて「身の回りの貴重品を集める」（65.2%）、「食料と水を確保する」（51.4%）といった行動をとるようです。
- ・男女別でみると、女性は「身の周りの貴重品を集める」が高く、特に20歳代・30歳代でその傾向が強くなっています。また、男性は「自宅の被災状況を確認する」が高くなっており、40歳代・50歳代で強くなっています。

Q. 自宅で大地震が起きた後、優先する行動は何ですか（上位3つ回答）



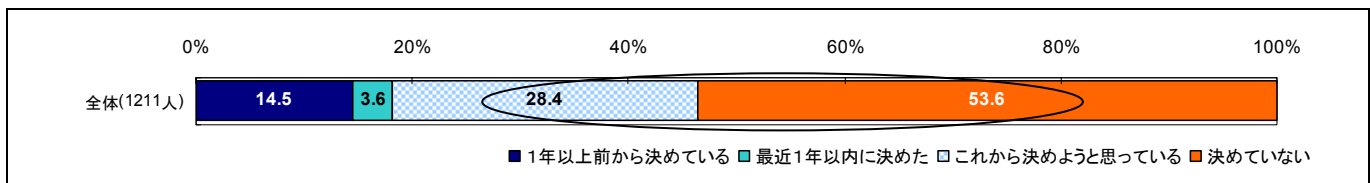
2. 震災時の大切にしたい「絆」

(3) 家族との連絡手段・落ち合う場所

家族の「絆」を強く意識しながらも、家族との連絡手段等を約8割の人が決めていない！

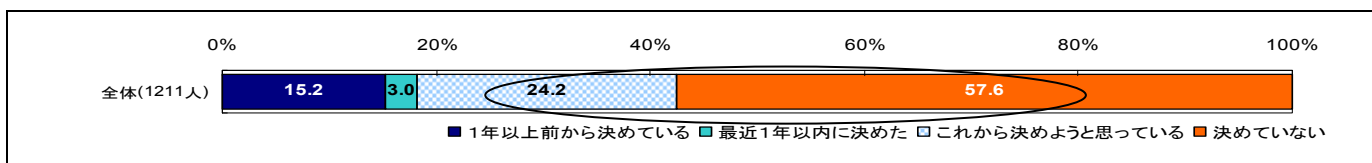
- ・今回の調査で、大地震発生時に、多くの人が「家族が頼り」「家族の安否」など、家族の「絆」を強く意識していることがわかりました。そこで、いざ大地震が発生した場合の家族との「連絡手段」「落ち合う場所」について聞いてみました。
- ・なんと！「家族が頼り」「家族の安否」を意識しながらも「家族との連絡手段」「家族と落ち合う場所」を既に決めている人は共に、**わずか18%程度**。約8割の人が**未決定**（「決めていない」＋「これから決める」）という結果となっています。
- ・居住地域別で見ると、「東海」「関東」では、家族との「連絡手段」「落ち合う場所」を既に「決めている」人が平均より高くなっています。

Q. 震災時に家族との連絡手段は決めていますか（単一回答）



	回答者数	1年以上前から決めている (%)	最近1年以内に決めた (%)	これから決めようと思っている (%)	決めていない (%)
【未既婚×性別×子供の有無】					
全体	1211人	14.5	3.6	28.4	53.6
未婚計	455人	9.9	2.2	22.4	65.5
男性未婚者	248人	7.3	1.6	21.8	69.4
女性未婚者	207人	13.0	2.9	23.2	60.9
既婚計	756人	17.2	4.4	32.0	46.4
既婚子供なし計	158人	16.5	4.4	27.8	51.3
子供なし男性	69人	14.5	8.7	30.4	46.4
子供なし女性	89人	18.0	1.1	25.8	55.1
既婚子供あり計	598人	17.4	4.3	33.1	45.2
子供あり男性	282人	17.4	3.5	34.4	44.7
子供あり女性	316人	17.4	5.1	32.0	45.6
【地域別】					
北海道	77人	7.8	5.2	28.6	58.4
東北	52人	15.4	1.9	30.8	51.9
関東	477人	18.0	3.8	31.4	46.8
甲信越・北陸	52人	13.5	0.0	17.3	69.2
東海	135人	19.3	5.2	32.6	43.0
近畿	223人	9.9	4.5	26.9	58.7
中国	63人	11.1	0.0	17.5	71.4
四国	30人	16.7	3.3	13.3	66.7
九州・沖縄	102人	7.8	2.0	27.5	62.7

Q. 家族との連絡が不可能な状況の際、家族が落ち合う場所を決めていますか（単一回答）



	回答者数	1年以上前から決めている (%)	最近1年以内に決めた (%)	これから決めようと思っている (%)	決めていない (%)
【未既婚×性別×子供の有無】					
全体	1211人	15.2	3.0	24.2	57.6
未婚計	455人	9.7	2.0	18.2	70.1
男性未婚者	248人	6.0	2.0	16.9	75.0
女性未婚者	207人	14.0	1.9	19.8	64.3
既婚計	756人	18.5	3.6	27.8	50.1
既婚子供なし計	158人	20.3	3.8	24.7	51.3
子供なし男性	69人	20.3	5.8	30.4	43.5
子供なし女性	89人	20.2	2.2	20.2	57.3
既婚子供あり計	598人	18.1	3.5	28.6	49.8
子供あり男性	282人	18.1	3.2	29.8	48.9
子供あり女性	316人	18.0	3.8	27.5	50.6
【地域別】					
北海道	77人	7.8	2.6	27.3	62.3
東北	52人	17.3	0.0	28.8	53.8
関東	477人	19.7	3.8	25.6	50.9
甲信越・北陸	52人	7.7	0.0	17.3	75.0
東海	135人	23.0	4.4	25.2	47.4
近畿	223人	10.8	2.7	26.5	60.1
中国	63人	12.7	0.0	14.3	73.0
四国	30人	10.0	3.3	16.7	70.0
九州・沖縄	102人	4.9	2.9	18.6	73.5

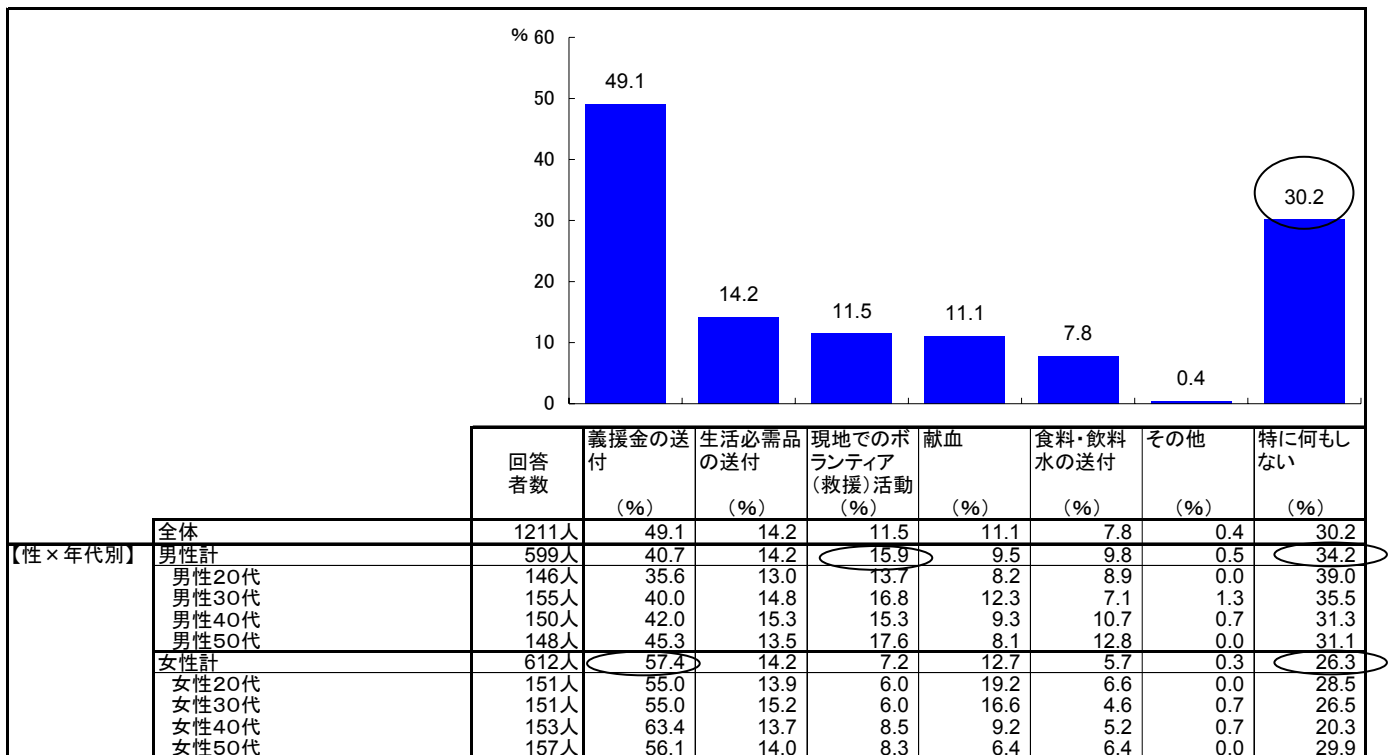
2. 震災時の大切にしたい「絆」

(4) 個人でできる救助活動は？

個人レベルでできる救助活動は「義援金の送付」
残念な結果！「特に何もしない」が30.2%も！

- ・震災時の救援・復興活動は、行政、地域住民等が相互に協力しあって進めることに加え、被災地域以外のボランティアも必要です。
- ・そこで、震災時の個人でできるボランティア（救助）活動について聞いてみました。
- ・個人レベルでできる救助活動の第1位は「義援金の送付」（49.1%）、続いて「生活必需品の送付」（14.2%）、「現地でのボランティア（救助）活動」（11.5%）となっています。
- ・一方、救助活動は「特に何もしない」との回答も30.2%あり、少し残念な結果がでています。特に、女性（26.3%）より男性（34.2%）の方が「特に何もしない」と回答した人が多くなっています。
- ・また、女性は平均より「義援金の送付」が高い傾向（57.4%）がある一方、男性は「現地でのボランティア（救助）活動」（15.9%）が女性よりも高い傾向となっています。

Q. 他の地域で大震災が発生した場合、個人でしようと思う援助活動は何ですか（複数回答）



3. 震災時の「備え」

(1) 震災対策として何をしていますか？

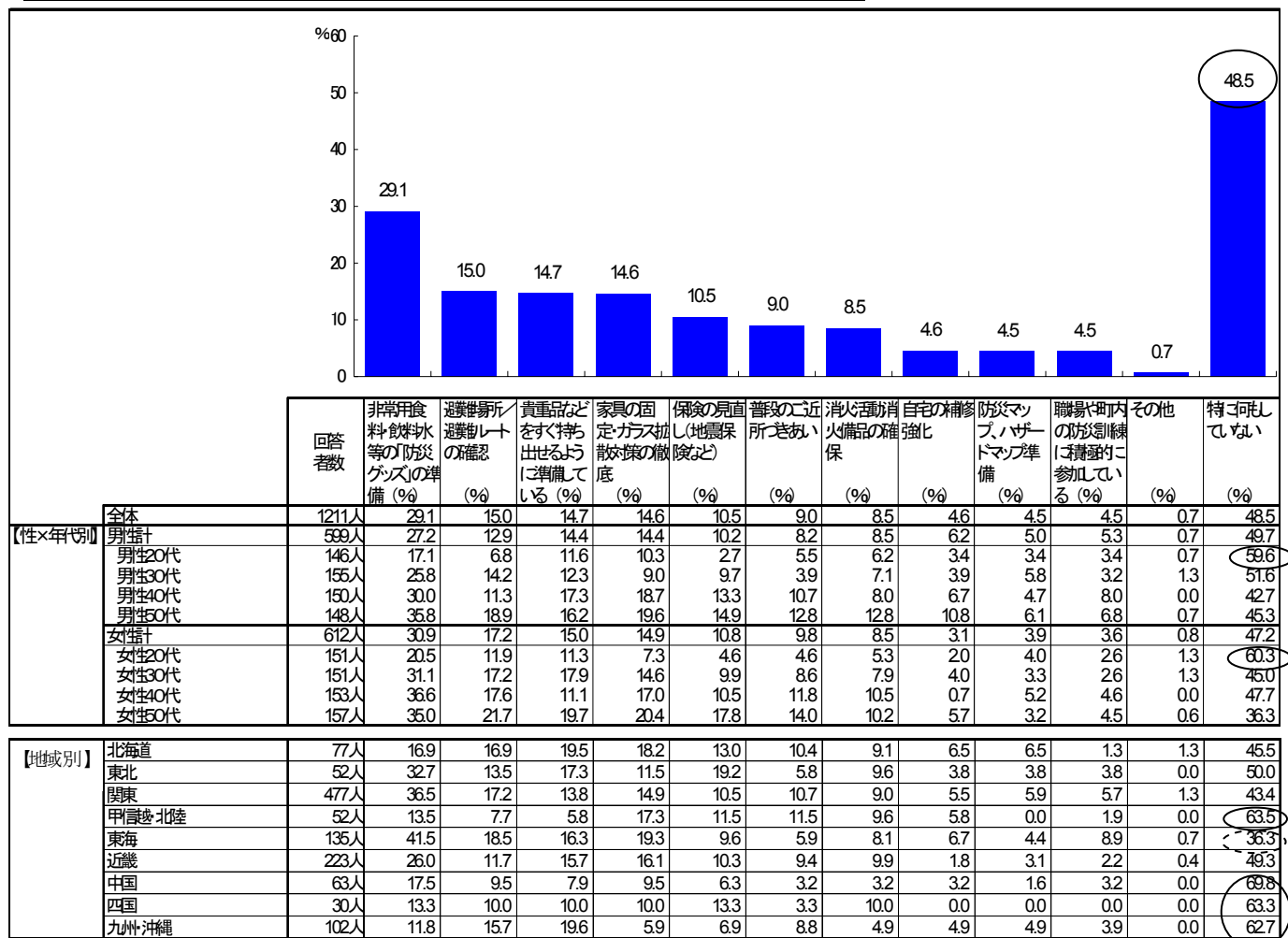
震災対策の第1位は、「防災グッズの準備」

一方で、震災を不安と思いつつ、「特に何もしていない」が48.5%も。意外と無防備？

震災対策の準備状況が一番高い地域は「東海」

- ・いつ起こるかわからない大震災！いざという時の準備は万全にしておいた方が安心ですね。そこで、震災対策の準備状況について聞いてみました。
- ・震災対策の第1位は、「防災グッズの準備」、続いて、「避難場所の確認」「貴重品の準備」「家具の固定」となっています。
- ・一方、「特に何もしていない」が約半数の48.5%となっています。震災を不安と思いつつ、意外と無防備な人が多いようです。特に20歳代の男女の約60%が「特に何もしていない」と回答しています。
- ・居住地域別でみると、「東海」の震災対策の準備状況が一番高く、「特に何もしていない」と回答した人が36.3%と最も低くなっています。一方、「特に何もしていない」と回答した人が多い地域は、「中国」(69.8%)、「甲信越・北陸」(63.5%)、「四国」(63.3%)、「九州・沖縄」(62.7%)となっています。

Q. あなたは、震災対策として何をしていますか（複数回答）



3. 震災時の「備え」

(2) いざというときの備え「防災グッズ」は何を準備？

防災グッズで準備している第1位は「懐中電灯」

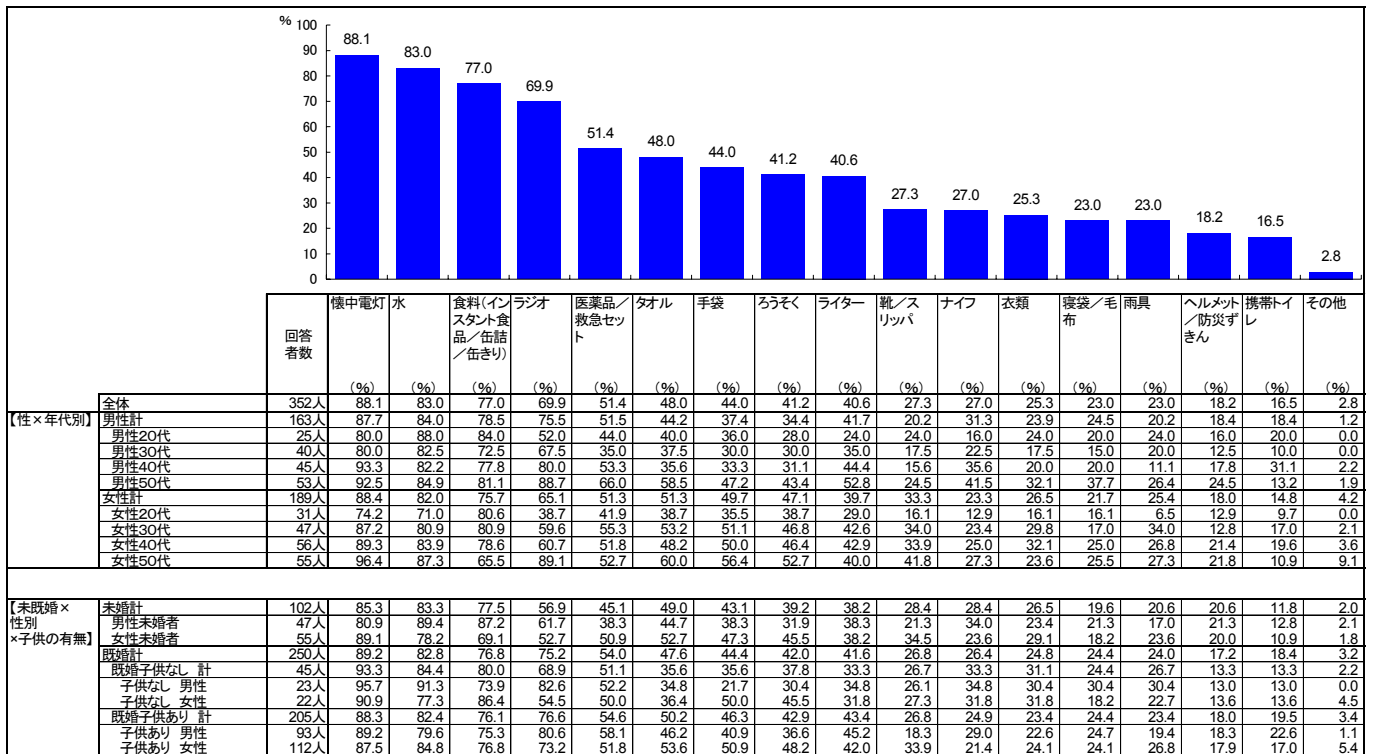
防災グッズにかかる費用は高い？安い？ 平均で9,963円

防災グッズを準備しない理由「準備をつい忘れてしまう」「何を準備していいかわからない」

<防災グッズで準備しているもの>

- ・ 防災グッズを準備している人に、具体的に何を準備しているか聞いてみました。
- ・ 準備しているものの第1位は「懐中電灯」、続いて「水」「食料」「ラジオ」となっています。

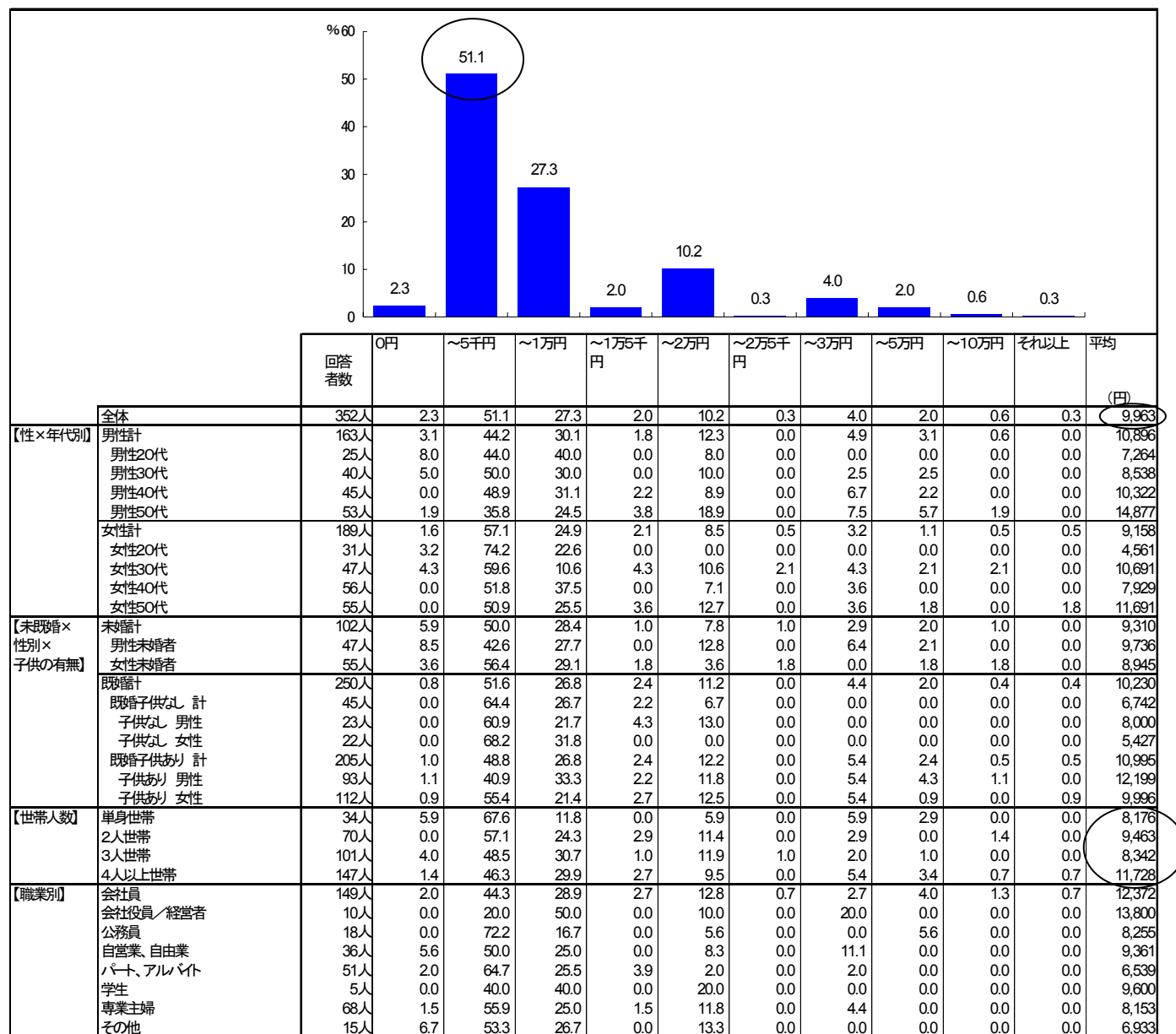
Q. あなたは、実際に、どんな防災グッズを用意していますか（複数回答）



<防災グッズにかかる費用>

- ・次に、防災グッズにかけている費用について聞いてみました。全体の平均では9,963円、分布としては、5千円以下が51.1%と一番高くなっています。
- ・世帯人数別でみると、単身8,176円、2人世帯9,463円、4人以上世帯11,728円と、概ね世帯の人数が増えるにつれ、準備費用も大きくなっています。

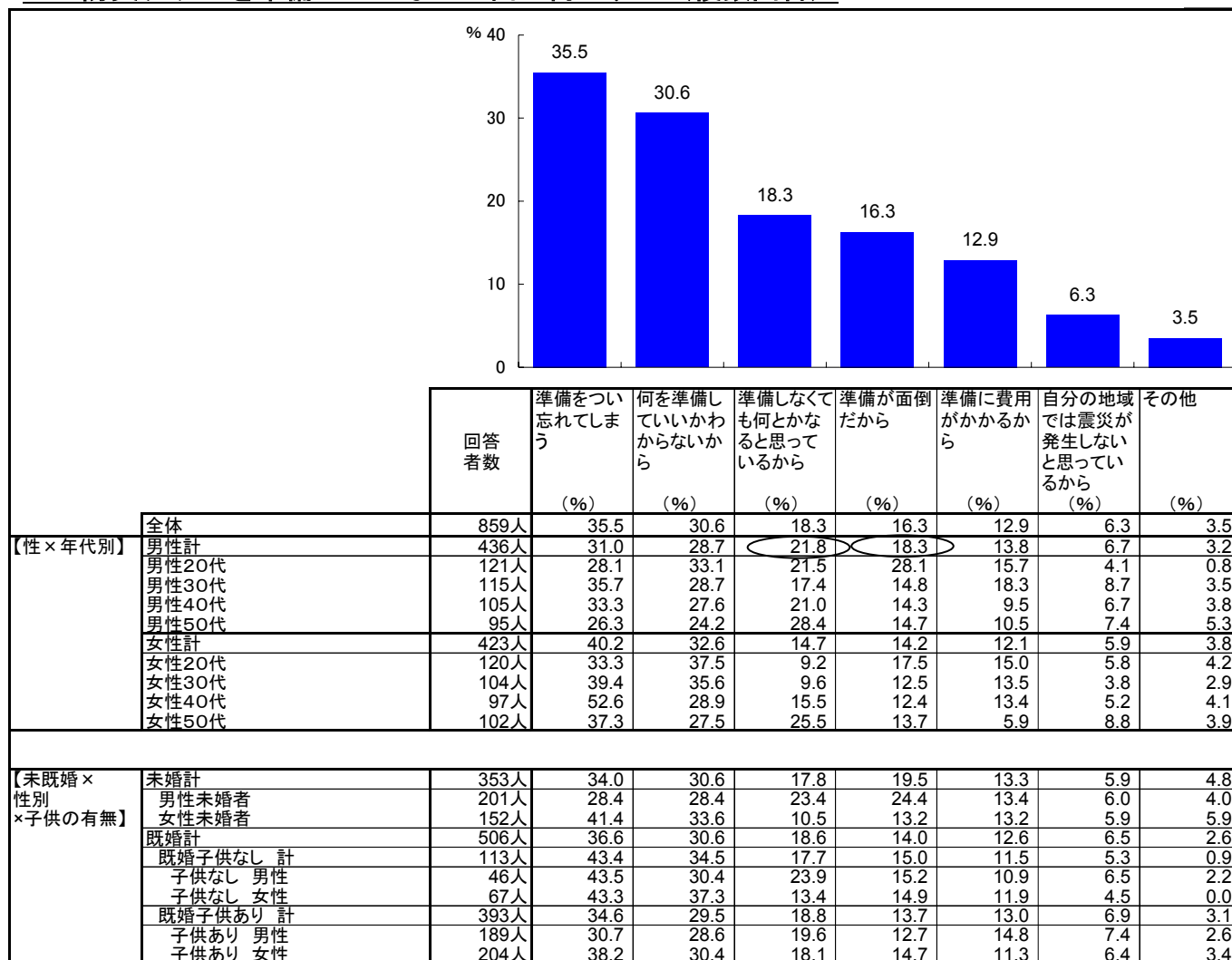
Q. あなたは、防災グッズにいくらかけていますか？（自由回答）



<防災グッズを準備しない理由>

- ・一方で、防災グッズを準備していない人に、「準備していない理由」を聞いてみました。
- ・理由の上位は、「準備をつい忘れてしまう」（35.5%）、「何を準備していいかわからない」（30.6%）となっています。
- ・特に男性は「準備が面倒だから」「準備をしなくても何とかなると思っているから」を理由とする傾向が高く、女性に比べ、面倒くさがりや？楽観主義？なのではないでしょうか。

Q. 防災グッズを準備していない理由は何ですか（複数回答）



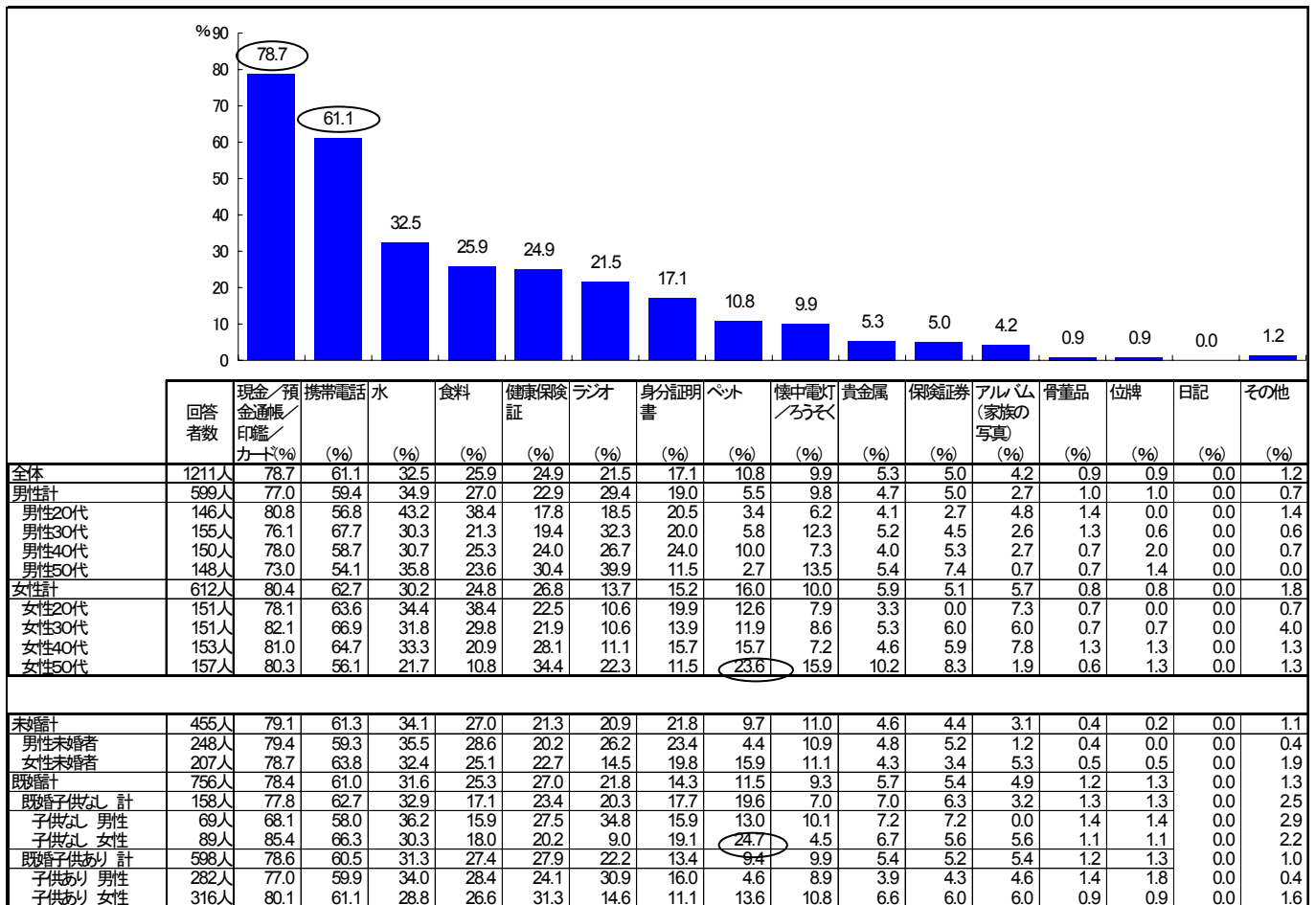
3. 震災時の「備え」

(3) 震災発生時に持って逃げたいものは？

突然の震災！持って逃げたいものは「現金」「携帯電話」！

- ・震災が発生したとき、大切なものを安全なところに運び出そうというのは自然の行動です。そこで、震災発生時に「持って逃げたいもの」について聞いてみました。
- ・やはり、先立つものは「お金」。持って逃げたいものの第1位は「現金・預金通帳・印鑑・カード」(78.7%)となっています。
- ・続いて「携帯電話」(61.1%)となっています。意外と若年層だけではなく、年齢を問わず多くの方が回答しています。家族の安否確認や災害情報を得る手段のほか、写真やメールなどの思い出・記念になるデータが保管されているからでしょうか？手放せないもののひとつになっているようです。
- ・また、少数ですが、「ペットを持って逃げる」との回答があり、子どものいない既婚女性、50代女性で平均より高い傾向を示しています。「家族同然」に大切にしているペット、真っ先に助けたいのでしょう。

Q. 震災時に持って逃げたい「もの」(上位3つ回答)



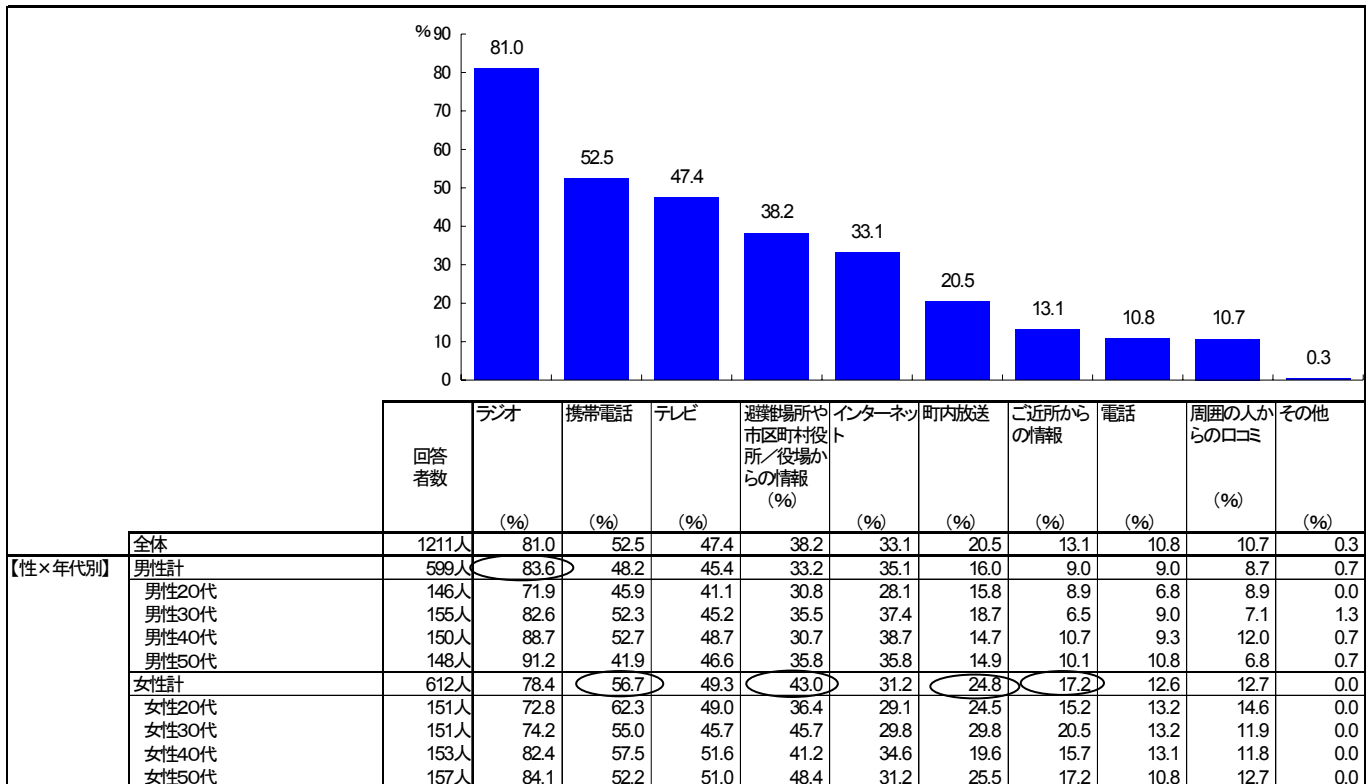
3. 震災時の「備え」

(4) 震災時の情報源は？

震災時には正しい情報が不可欠！ 情報源は「ラジオ」「携帯電話」から

- ・大地震が発生した場合、正しい情報が不可欠です。そこで、震災時に情報を得る方法を聞いてみました。
- ・情報源としての第1位は、やっぱり「ラジオ」(81.0%)。続いて「携帯電話」(52.5%)となっています。今も昔も「ラジオ」は、震災時の情報源としては認識が高いようです。最近では発電・充電機能付のラジオなども発売され、防災機能も向上しているようです。
- ・また、「携帯電話」は、普及率の高まりとともに、情報機器としての機能充実から、災害情報を得る手段として上位になっています。時代の流れでしょうか？
- ・男女別でみると、男性では「ラジオ」を情報源とする傾向が高い一方、女性では「携帯電話」「避難場所・役所」「町内放送」「近所からの情報」が高くなっています。

Q. 災害時に情報源としようとしているものは何ですか (複数回答)

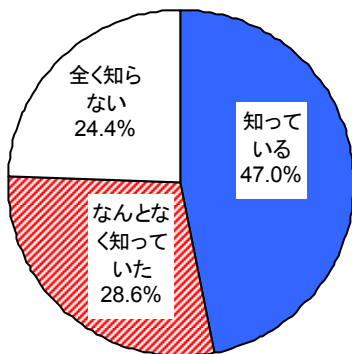


4. 「防災の日」を知っている？

9月1日「防災の日」の由来 知っている人は全体で47.0%
20歳代の方は、3人に1人が「全く知らない」！

- ・今回の調査は、9月1日の「防災の日」を前に震災に対する意識を聞いたものですが、この「防災の日」の由来について、どれくらいの人知っているか聞いてみました。
- ・9月1日は、この日に起きた関東大震災の教訓を忘れないという意味と、この時期に多い台風に対する心構えの意味を含め、「防災の日」として制定されています。この由来を知っている人は、約半数の47.0%。続いて、「何となく知っている（関東大震災の発生した日くらいは知っているが由来までは・・・）」は28.6%、「全く知らない」人は、24.4%となっています。
- ・年齢別でみると、20歳代の男性で37.0%、女性で35.8%と3人に1人が「防災の日」の由来を「全く知らない」と回答しています。今の若い年代の人からは、関東大震災は風化しつつあるのでしょうか？

Q. 9月1日が、この日に起きた関東大震災の教訓を忘れないという意味と、この時期に多い台風に対する心構えの意味も含め、防災の日として制定されたことを知っていましたか（単一回答）



		回答者数	知っている (%)	何となく知っていた (%)	全く知らない (%)
全体		1211人	47.0	28.6	24.4
【性×年代別】	男性計	599人	46.2	29.2	24.5
	男性20代	146人	32.9	30.1	37.0
	男性30代	155人	45.2	25.2	29.7
	男性40代	150人	47.3	33.3	19.3
	男性50代	148人	59.5	28.4	12.2
	女性計	612人	47.7	27.9	24.3
	女性20代	151人	35.8	28.5	35.8
	女性30代	151人	45.0	27.2	27.8
	女性40代	153人	56.2	29.4	14.4
	女性50代	157人	53.5	26.8	19.7

5. 自然災害以外に何が不安？

**自然災害以外で最も不安に感じることは「老後の生活」「自分・家族の健康」
時代背景を映す！？ 若年層でも「老後の生活」を不安に！
女性は「食品の安全性」「親の世話・面倒」「環境問題」、男性は「仕事・リストラ」も不安に！**

- ・これまで、震災に対する意識を聞いてきました。我々が生活している現代社会、自然災害以外にもさまざまなリスク・不安は多分にあります。そこで、最後に、自然災害以外で現在不安に思っていることを聞いてみました。
- ・最も不安に感じることは、「老後の生活」（66.4%）、続いて、「自分・家族の健康」となっています。
- ・時代背景を映しているのでしょうか。「老後の生活」に対する不安は、20歳代でも男性で43.2%、女性で61.6%と高く、老若男女を問わず不安に感じているようです。年齢が高くなり、老後が目の前に迫るにつれ、その不安は大きくなっています。
- ・男女別でみると、男性では「仕事・リストラ」を不安に感じる傾向がある一方、女性では全体的に不安に感じる項目が多く、特に、「自分・家族の健康」「食品の安全性」「親の世話・面倒」「環境問題」が高くなっています。女性は心配ごとが多いようです。

Q. 「自然災害」以外に不安なもの何ですか（複数回答）

